

平成28年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	長野県		市町村類型	I-1	指定団体等の指定状況		区分		平成28年度(千円)	平成27年度(千円)	区分		平成28年度(千円・%)	平成27年度(千円・%)																																																																																																																																															
					財政健全化等	×	歳入総額	3,240,564			2,852,688	実質収支比率			12.0	4.1																																																																																																																																													
市町村名	木祖村		地方交付税種地	2-2	財源超過	×	歳出総額	3,002,556	2,761,218	経常収支比率	79.8	83.0	(83.7)	(83.0)																																																																																																																																															
					首都	×	歳入歳出差引	238,008	91,470	(※1)																																																																																																																																																			
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	4,374	10,912	標準財政規模	1,948,259	1,979,979																																																																																																																																																	
					中部	×	実質収支	233,634	80,558	財政力指数	0.35	0.35																																																																																																																																																	
人口	27年国調(人)	2,926	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	153,076	-129,046	公債費負担比率	13.3	16.0																																																																																																																																																	
	22年国調(人)	3,134			過疎	○	積立金	1,148	1,213	健全化判断比率																																																																																																																																																			
	増減率(%)	-6.6			山振	○	繰上償還金	-	-	実質赤字比率																																																																																																																																																			
住民基本台帳人口(※7)	29.01.01(人)	3,009	第1次	27年国調	118	131	低開発	×	積立金取崩し額	280,000	-	連結実質赤字比率																																																																																																																																																	
	うち日本人(人)	2,982		22年国調	8.0	8.5	指数表選定	○	実質単年度収支	-125,776	-127,833	実質公債費比率	5.6	5.7																																																																																																																																															
	28.01.01(人)	3,055	第2次	469	525			基準財政収入額	573,490	572,644	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																		
	うち日本人(人)	3,029		31.9	34.1			基準財政需要額	1,686,412	1,688,817																																																																																																																																																			
	増減率(%)	-1.5		882	882			標準税収入額等	737,102	735,310																																																																																																																																																			
	うち日本人(%)	-1.6	第3次	60.0	57.3			経常経費充当一般財源等	1,584,404	1,597,778																																																																																																																																																			
面積(km ²)	140.50						歳入一般財源等	2,512,754	2,198,247																																																																																																																																																				
人口密度(人/km ²)	21																																																																																																																																																												
世帯数(世帯)	1,045																																																																																																																																																												
職員状況																																																																																																																																																													
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	2,616,126	2,572,689																																																																																																																																																		
	市区町村長	1	6,400	一般職員等(※6)	一般職員	53	143,948	2,716	うち公的資金	2,306,717	2,249,811																																																																																																																																																		
	副市区町村長	1	5,570		うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	4,237	5,256																																																																																																																																																		
	教育長	1	5,310		うち技能労務職員	-	-	-	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																		
	議会議長	1	2,430		教育公務員	-	-	-	土地開発基金現在高	219,127	139,096																																																																																																																																																		
	議会副議長	1	1,660		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	1,297,997	1,535,849																																																																																																																																																		
	議会議員	8	1,500		合計	53	143,948	2,716	減債基金	8,867	8,865																																																																																																																																																		
					ラスバイレス指数				98.7	財政調整基金	498,819	612,137																																																																																																																																																	
										その他特定目的基金																																																																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>一般会計等の一覧 項番</th> <th>会計名</th> <th>事業会計の一覧 項番</th> <th>会計名</th> <th>公営企業(法適)の一覧 項番</th> <th>会計名</th> <th>公営企業(法非適)の一覧 項番</th> <th>会計名</th> <th>関係する一部事務組合等一覧 項番</th> <th>組合等名</th> <th>地方公社・第三セクター等一覧 項番</th> <th>団体名</th> <th>(※3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(2)</td> <td>木祖村国民健康保険特別会計</td> <td>(4)</td> <td>木祖村営水道特別会計</td> <td>(7)</td> <td>木曾広域連合</td> <td>(17)</td> <td>(株)源流</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3)</td> <td>木祖村後期高齢者医療制度特別会計</td> <td>(5)</td> <td>木祖村公共下水道事業特別会計</td> <td>(8)</td> <td>(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(6)</td> <td>木祖村農業集落排水事業特別会計</td> <td>(9)</td> <td>(一般会計(下水道))</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>(介護保険特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>長野県市町村自治振興組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>長野県後期高齢者医療広域連合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>(後期高齢者医療事業会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>長野県市町村総合事務組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>															一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)	(1)	一般会計	(2)	木祖村国民健康保険特別会計	(4)	木祖村営水道特別会計	(7)	木曾広域連合	(17)	(株)源流						(3)	木祖村後期高齢者医療制度特別会計	(5)	木祖村公共下水道事業特別会計	(8)	(一般会計)										(6)	木祖村農業集落排水事業特別会計	(9)	(一般会計(下水道))												(10)	(介護保険特別会計)												(11)	長野県市町村自治振興組合												(12)	長野県後期高齢者医療広域連合												(13)	(一般会計)												(14)	(後期高齢者医療事業会計)												(15)	長野県市町村総合事務組合												(16)	(一般会計)					
一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)																																																																																																																																																	
(1)	一般会計	(2)	木祖村国民健康保険特別会計	(4)	木祖村営水道特別会計	(7)	木曾広域連合	(17)	(株)源流																																																																																																																																																				
		(3)	木祖村後期高齢者医療制度特別会計	(5)	木祖村公共下水道事業特別会計	(8)	(一般会計)																																																																																																																																																						
				(6)	木祖村農業集落排水事業特別会計	(9)	(一般会計(下水道))																																																																																																																																																						
						(10)	(介護保険特別会計)																																																																																																																																																						
						(11)	長野県市町村自治振興組合																																																																																																																																																						
						(12)	長野県後期高齢者医療広域連合																																																																																																																																																						
						(13)	(一般会計)																																																																																																																																																						
						(14)	(後期高齢者医療事業会計)																																																																																																																																																						
						(15)	長野県市町村総合事務組合																																																																																																																																																						
						(16)	(一般会計)																																																																																																																																																						

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	674,172	20.8	674,172	35.6	普通税	674,172	100.0	35,661
地方譲与税	31,616	1.0	31,616	1.7	法定普通税	674,172	100.0	35,661
利子割交付金	308	0.0	308	0.0	市町村民税	130,967	19.4	1,589
配当割交付金	949	0.0	949	0.1	個人均等割	5,362	0.8	-
株式等譲渡所得割交付金	550	0.0	550	0.0	所得割	111,608	16.6	-
地方消費税交付金	52,819	1.6	52,819	2.8	法人均等割	5,966	0.9	-
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	8,031	1.2	1,589
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	527,661	78.3	34,072
自動車取得税交付金	5,736	0.2	5,736	0.3	うち純固定資産税	506,534	75.1	34,072
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	9,986	1.5	-
地方特例交付金	457	0.0	457	0.0	市町村たばこ税	5,558	0.8	-
地方交付税	1,241,320	38.3	1,111,535	58.7	鉱産税	-	-	-
普通交付税	1,111,535	34.3	1,111,535	58.7	特別土地保有税	-	-	-
特別交付税	129,785	4.0	-	-	法定外普通税	-	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	目的税	-	-	-
(一般財源計)	2,007,927	62.0	1,878,142	99.2	法定目的税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	-	-	-	-	入湯税	-	-	-
分担金・負担金	3,313	0.1	-	-	事業所税	-	-	-
使用料	33,530	1.0	-	-	都市計画税	-	-	-
手数料	2,042	0.1	-	-	水利地益税等	-	-	-
国庫支出金	170,051	5.2	-	-	法定外目的税	-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-
都道府県支出金	105,497	3.3	-	-	合計	674,172	100.0	35,661
財産収入	15,230	0.5	7,099	0.4				
寄附金	13,536	0.4	-	-				
繰入金	396,612	12.2	-	-				
繰越金	50,470	1.6	-	-				
諸収入	66,156	2.0	8,776	0.5				
地方債	376,200	11.6	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	92,000	2.8	-	-				
歳入合計	3,240,564	100.0	1,894,017	100.0				

区分	平成28年度	平成27年度
徴収率 現・計	99.6	98.8
(%) 年	99.6	99.0
	99.7	98.7

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	375,535	実質収支	17,840
下水道	164,410	再差引収支	15,631
簡易水道	11,018	加入世帯数(世帯)	412
上水道	-	被保険者数(人)	668
工業用水道	-	被保険者1人当り	86
国民健康保険	17,324	保険税(料)収入額	100
その他	182,783	国庫支出金	286
		保険給付費	

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況 (単位 千円・%)				
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	42,175	1.4	-	42,175
総務費	672,089	22.4	54,346	595,073
民生費	483,370	16.1	9,509	303,041
衛生費	192,862	6.4	142	188,737
労働費	13,767	0.5	-	11,767
農林水産業費	265,698	8.8	85,051	167,370
商工費	166,433	5.5	49,441	95,704
土木費	448,297	14.9	210,144	265,438
消防費	141,949	4.7	44,829	110,389
教育費	216,183	7.2	70,785	160,017
災害復旧費	7,666	0.3	-	686
公債費	352,067	11.7	-	334,349
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	3,002,556	100.0	524,247	2,274,746

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	965,197	32.1	806,296	791,802	39.9
人件費	454,594	15.1	422,526	411,889	20.7
うち職員給	225,101	7.5	200,408	-	-
扶助費	158,536	5.3	49,421	45,564	2.3
公債費	352,067	11.7	334,349	334,349	16.8
元利償還金	352,054	11.7	334,336	334,336	16.8
内 うち元金	332,763	11.1	315,045	315,045	15.9
内 うち利子	19,291	0.6	19,291	19,291	1.0
一時借入金利子	13	0.0	13	13	0.0
その他の経費	1,505,446	50.1	1,349,167	792,602	39.9
物件費	663,389	22.1	588,366	271,540	13.7
維持補修費	19,643	0.7	16,790	16,790	0.8
補助費等	432,626	14.4	388,396	251,827	12.7
うち一部事務組合負担金	267,169	8.9	267,019	160,197	8.1
繰出金	375,535	12.5	355,615	252,445	12.7
積立金	2,453	0.1	-	-	-
投資・出資金・貸付金	11,800	0.4	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	531,913	17.7	119,283	-	-
うち人件費	12,046	0.4	12,046	-	-
普通建設事業費	524,247	17.5	118,597	-	-
うち補助	200,275	6.7	21,951	-	-
うち単独	289,662	9.6	93,986	-	-
災害復旧事業費	7,666	0.3	686	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	3,002,556	100.0	2,274,746	-	-

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

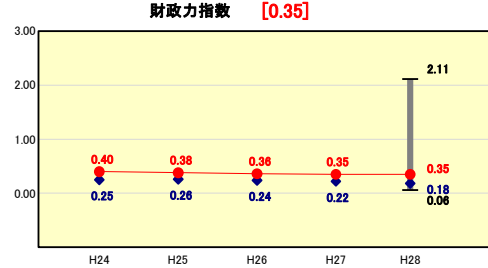
人口	3,009	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	2,982	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	140.50	km ²	実質公債費比率	5.6	%
歳入総額	3,240,564	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	3,002,556	千円	市町村類型	H24 I-2 H25 I-2 H26 I-2	
実質収支	233,634	千円	(年度毎)	H27 I-1 H28 I-1	
標準財政規模	1,948,259	千円			
地方債現在高	2,616,126	千円			

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力

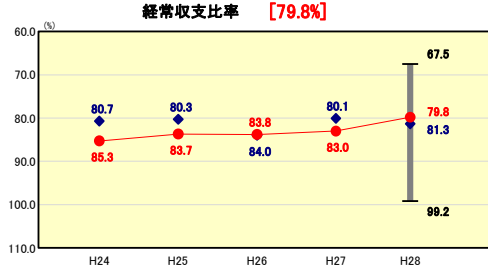
類似団体内順位 6/52 全国平均 0.50 長野県平均 0.39



財政力指数の分析欄
 味噌川ダム償却資産税により類似団体を上回る税収があるため0.35となっている。しかしながら、平成19年度をピークに味噌川ダム償却資産税は減少の一途をたどっており、財政力指数についても下降傾向となっており今後も年々減少することが予想される。税徴収事務については平成18年度より強化に取組んで一定の徴収率となっているが、人口の減少や高齢化の進行に加え、長引く景気低迷により個人・法人関係の減収により財政の悪化が懸念される。今後も引き続き歳入の見直しと行政の効率化に努め、財政の健全化を図る。

財政構造の弾力性

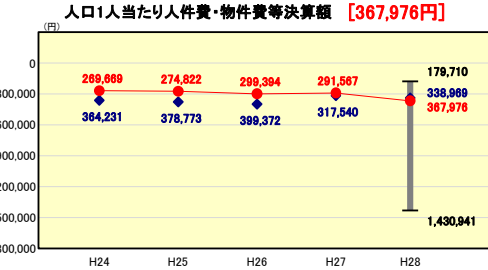
類似団体内順位 15/52 全国平均 92.5 長野県平均 85.9



経常収支比率の分析欄
 事務委託料等の物件費や維持補修費、補助費等の増加により、依然として高い水準をたどっている。平成28年度は不動産(土地)の購入により一時的に減少したが、今後も依然として高水準をたどっていくと予想されるため、事務事業の見直しを徹底し、村民との協働、委託業務の適正化等により経常経費の削減に努めたい。

人件費・物件費等の状況

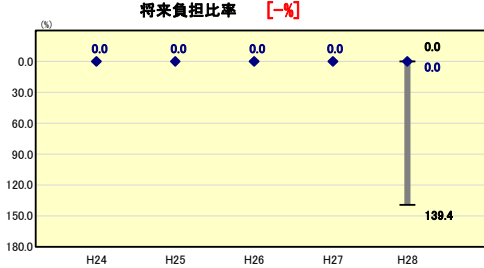
類似団体内順位 29/52 全国平均 123,135 長野県平均 138,350



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 職員の定員管理による人件費の抑制、各種団体への補助金・交付金や各種事業・イベント・行事・維持管理業務等々の見直しを図り、歳出の抑止に努めている。しかしながら、多様な住民ニーズに対応するため、新規職員の採用が多かったことや、記念イベントがあったこともあり類似団体を上回った。引き続きコスト削減に努めたい。

将来負担の状況

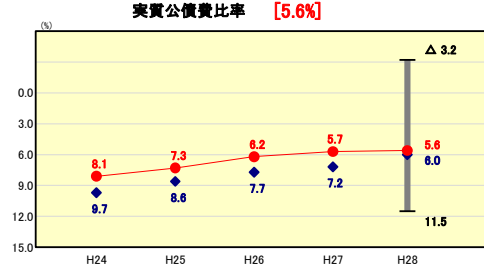
類似団体内順位 1/52 全国平均 34.5 長野県平均 3.5



将来負担比率の分析欄
 村債発行の抑制や基金繰入金の抑制により将来負担比率は0%を維持している。今後も義務的経費の削減を中心とする行財政改革を進め、財政の健全化に努めたい。

公債費負担の状況

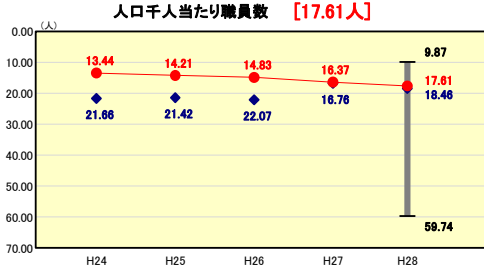
類似団体内順位 23/52 全国平均 6.9 長野県平均 6.0



実質公債費比率の分析欄
 村債発行額を抑制することにより、財政健全化に努めてきた結果徐々にではあるが実質公債費率も減少している。今後も交付税措置率等を勘案しながら、事業の適正化を図り村債の発行を抑制し財政健全化に努めたい。

定員管理の状況

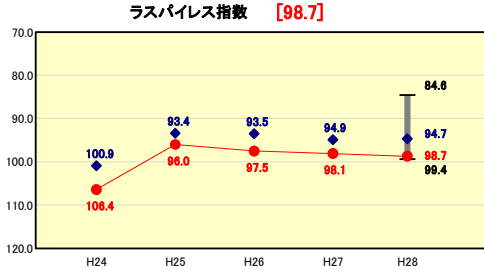
類似団体内順位 21/52 全国平均 7.90 長野県平均 7.96



人口千人当たり職員数の分析欄
 適正な定員管理の実施により類似団体平均を下回っている。今後世代交代時期にあり一時的に増加することが考えられるが、引き続き適正な定員管理に努めたい。

給与水準(国との比較)

類似団体内順位 47/52 全国市平均 99.1 全国町村平均 98.4



ラスパイレズ指数の分析欄
 定員管理の状況では職員数は多くないが、在籍職員年齢層にばらつきがあることから、職員の退職人数等により指数への影響が大きくなっている。今後も手当等の見直しを進める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

長野県木祖村

経常収支比率の分析

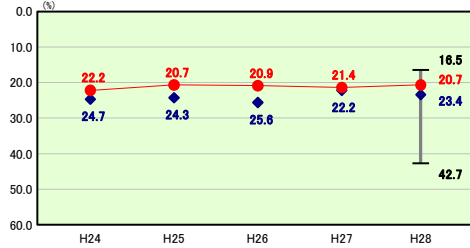
人口	3,009	人(H29.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	2,982	人(H29.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	140.50	km ²	実収公債費比率	5.6	%
歳入総額	3,240,564	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	3,002,556	千円	市町村類型	H24 I-2 H25 I-2 H26 I-2	
実収収支	233,634	千円	(年度毎)	H27 I-1 H28 I-1	
標準財政規模	1,948,259	千円			
地方債現在高	2,616,126	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

人件費

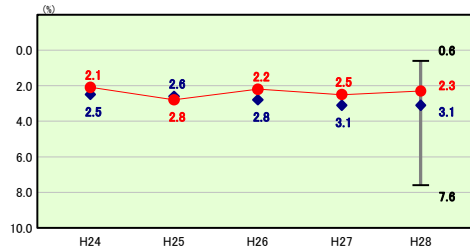
類似団体内順位 10/52 全国平均 23.7 長野県平均 21.1



人件費の分析欄
 類似団体平均と比較すると、人件費に係る経常収支比率は低くなっている。今後も人件費関係経費全体について、抑制を継続する。

扶助費

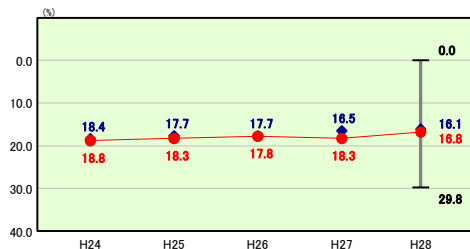
類似団体内順位 20/52 全国平均 12.4 長野県平均 7.5



扶助費の分析欄
 扶助費に係る経常収支比率は、類似団体平均を下回ってはいるが、横ばい傾向にある。単独事業で実施している福祉医療費給付施策や障害者福祉費等扶助費については事業を縮小することが困難であるが、資格審査等の適正化等を進め、上昇を防ぐよう努めたい。

公債費

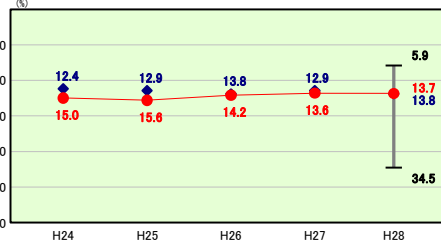
類似団体内順位 33/52 全国平均 17.7 長野県平均 16.6



公債費の分析欄
 類似団体平均と比較すると、公債費に係る経常収支比率はやや高めとなっている。既借入額の実質的な公債費のピークは過ぎてはいるが、今後も投資事業の適正な選択を行うとともに、新規発行額についても抑制を図っていく。

物件費

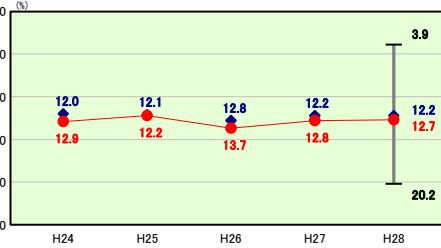
類似団体内順位 23/52 全国平均 14.8 長野県平均 13.4



物件費の分析欄
 類似団体平均と比較すると、物件費に係る経常収支比率が下回った。日常業務での郵送料、光熱水費、消耗品などの諸経費の徹底した削減と委託業務内容の見直しを継続して行っている。今後も長期継続契約の活用等、契約内容の見直しを含め経常収支比率の改善に努めたい。

補助費等

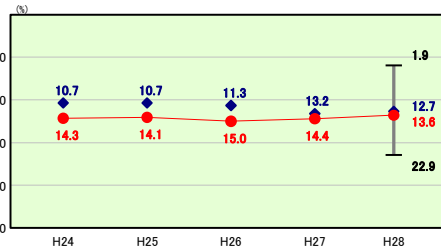
類似団体内順位 34/52 全国平均 10.4 長野県平均 14.6



補助費等の分析欄
 補助費等に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っている。木曾広域連合等の一部事務組合への分担金・負担金が構成団体数の変動等により占める割合が多くなっている事が要因となっている。また、経済活動、地域協働活動を促すための補助施策を実施していることによる。村内の各種団体補助及び事業補助について、事業内容を今後も定期的に検証し、随時見直しを図っていく。

その他

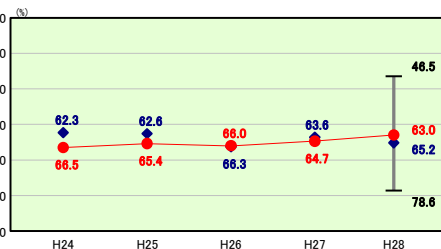
類似団体内順位 31/52 全国平均 13.5 長野県平均 12.7



その他の分析欄
 類似団体平均と比較すると、その他に係る経常収支比率は上回っている。これは繰出金が主な要因であり、上下水道事業の計上に係る経費の増加が要因である。今後も上下水道事業の独立採算の原則に立ち返った料金体系の見直しによる健全化等に努めていく。

公債費以外

類似団体内順位 13/52 全国平均 74.8 長野県平均 69.3



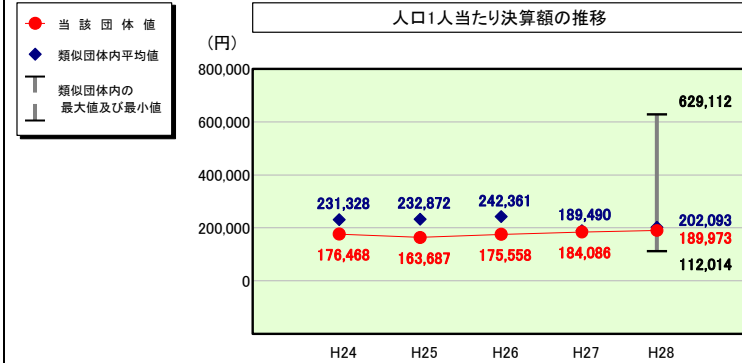
公債費以外の分析欄
 類似団体平均と比較すると、公債費以外に係る経常収支比率は下回っている。今後も物件費、補助費等、繰出金について、それぞれ適正な管理を行い、改善を図っていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

長野県木祖村

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

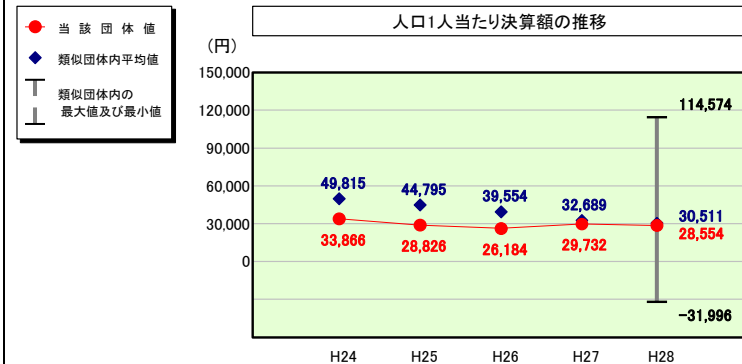
項目	当該団体決算額		人口1人当たり決算額	
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	454,594	151,078	160,295	▲ 5.8
賃金(物件費)	53,942	17,927	18,795	▲ 4.6
一部事務組合負担金(補助費等)	89,534	29,755	26,340	13.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,514	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	3,944	1,311	7,022	▲ 81.3
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	12,046	4,003	5,072	▲ 21.1
▲退職金	▲ 42,432	▲ 14,102	▲ 16,946	▲ 16.8
合計	571,628	189,973	202,093	▲ 6.0

参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	17.61	18.46	▲ 0.85
ラスパイレス指数	98.7	94.7	4.0

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

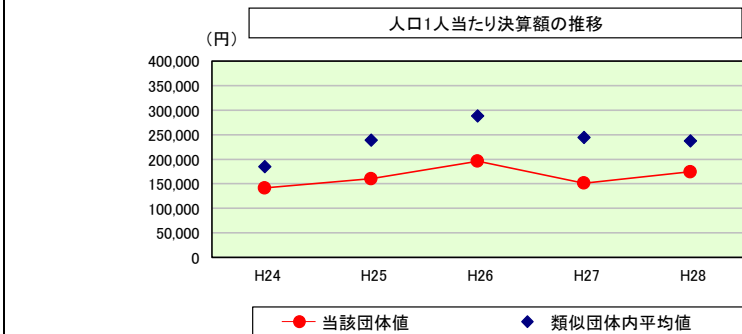


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額		人口1人当たり決算額	
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	352,054	117,000	103,357	13.2
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	156,882	52,138	28,799	81.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	11,604	3,856	4,510	▲ 14.5
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	2,191	728	1,276	▲ 42.9
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	13	4	40	▲ 90.0
▲特定財源の額	▲ 17,718	▲ 5,888	▲ 3,340	76.3
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 419,108	▲ 139,285	▲ 104,131	33.8
合計	85,918	28,554	30,511	▲ 6.4

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

年度	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H24	453,056	141,624	▲ 6.6	185,018	▲ 9.1	2.5
	うち単独分	387,526	121,140	▲ 13.9	95,064	▲ 21.5
H25	507,571	160,319	13.2	238,802	29.1	▲ 15.9
	うち単独分	286,576	90,517	▲ 25.3	128,562	35.2
H26	608,002	196,003	22.3	288,550	20.8	1.5
	うち単独分	249,549	80,448	▲ 11.1	141,525	10.1
H27	461,789	151,158	▲ 22.9	245,039	▲ 15.1	▲ 7.8
	うち単独分	246,192	80,587	0.2	108,922	▲ 23.0
H28	524,247	174,226	15.3	237,994	▲ 2.9	18.2
	うち単独分	289,662	96,265	19.5	110,361	1.3
過去5年間平均	510,933	164,666	4.3	239,081	4.6	▲ 0.3
	うち単独分	291,901	93,791	▲ 6.1	116,887	0.4

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

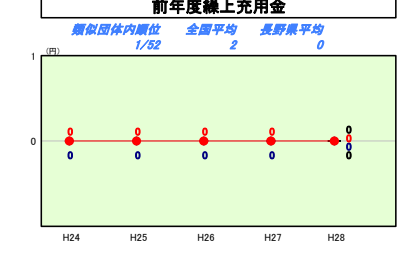
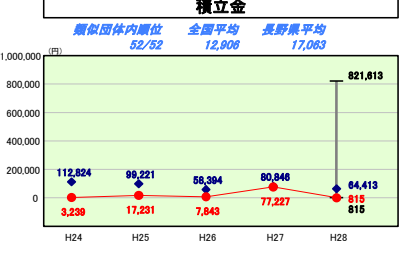
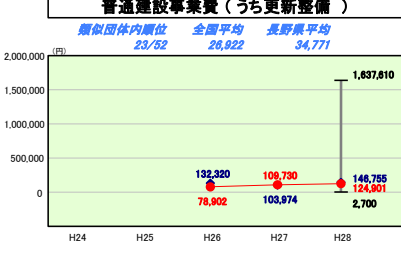
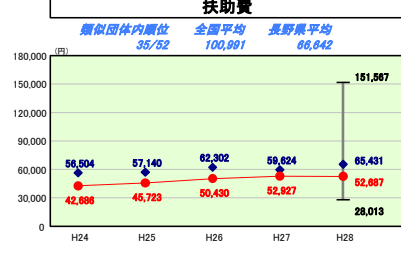
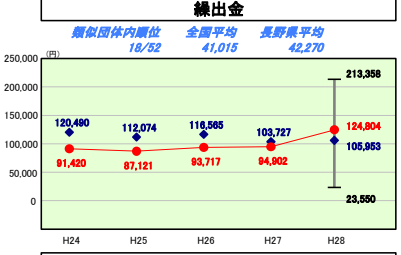
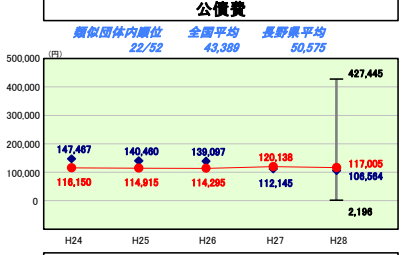
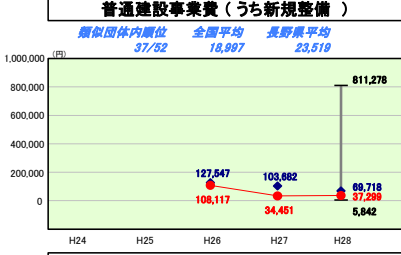
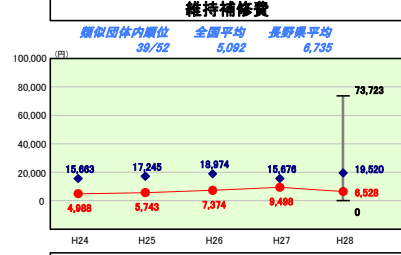
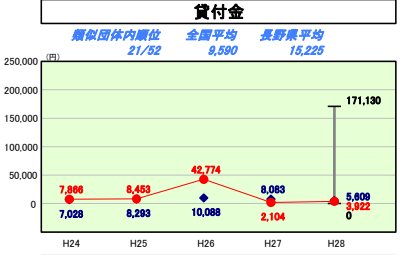
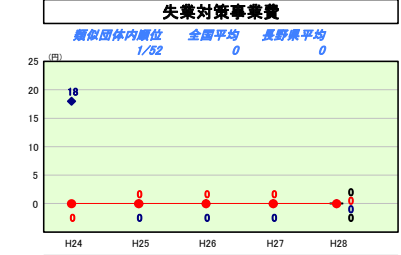
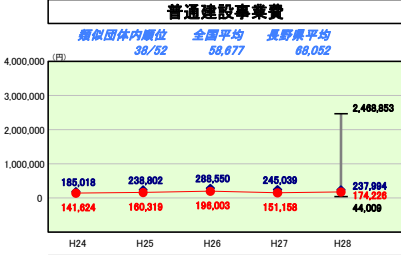
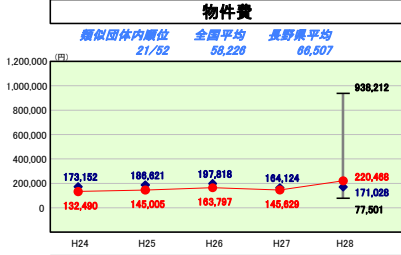
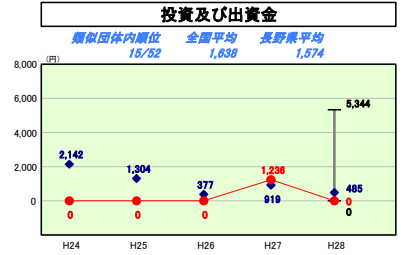
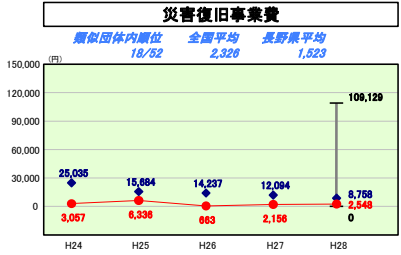
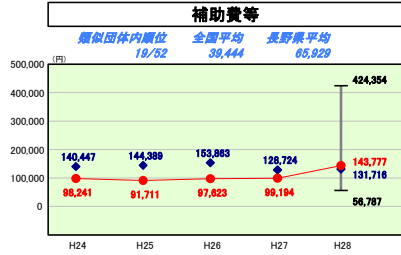
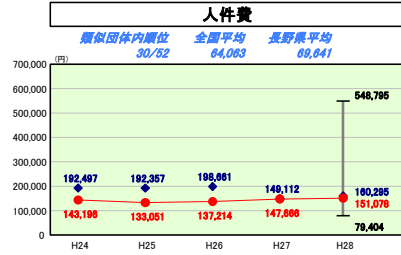
平成28年度

長野県木祖村

人口	3,009	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	2,982	人(H28.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	140.50	km ²	実質公債費比率	5.6	%
歳入総額	3,240,584	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	3,002,556	千円	市町村類型	H24 I-2 H25 I-2 H26 I-2	
実質収支	233,634	千円	(年度毎)	H27 I-1 H28 I-1	
標準財政規模	1,948,259	千円			
地方債現在高	2,616,126	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析概

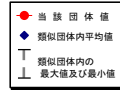
各項目について類似団体の平均を上回っているのが、「補助費等」、「物件費」、「公債費」、「繰出金」となった。
 「補助費等」については、木曾広域連合等の負担金(新ごみ処理施設建設負担金)が大きな要因となっている。
 「物件費」については、不動産(土地・家屋)の取得に多額の費用を要したことが要因となっている。
 「繰出金」については、上下水道特別会計への繰出金と、不動産取得にかかる経費に土地開発基金への繰出を行なったことが要因となっている。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

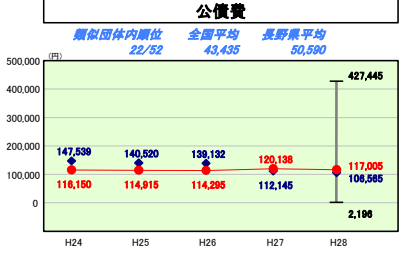
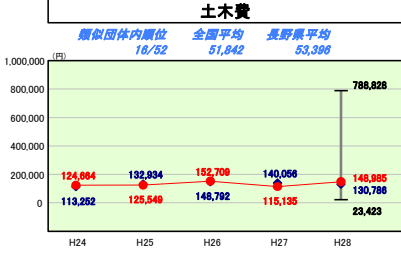
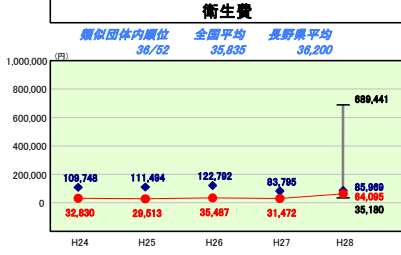
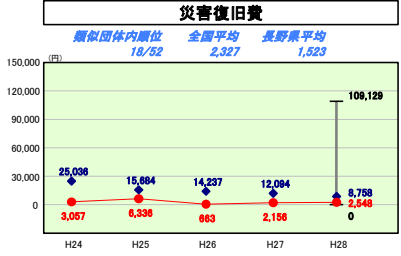
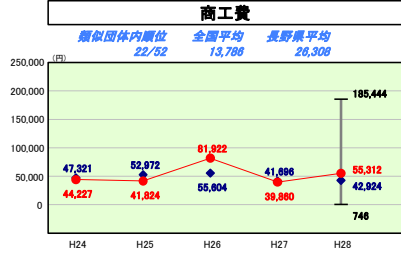
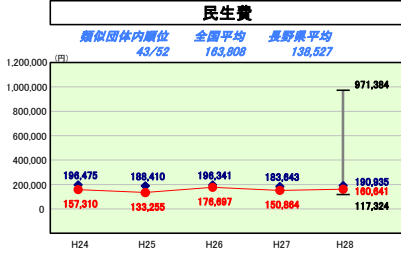
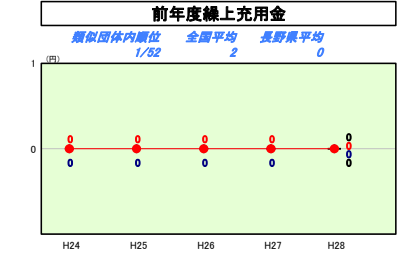
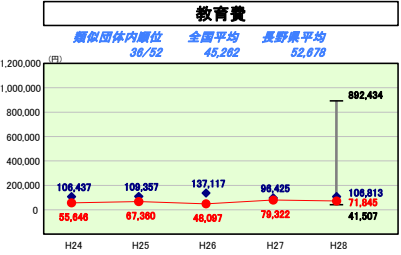
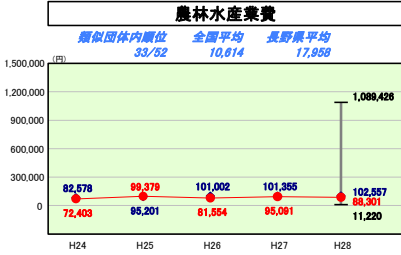
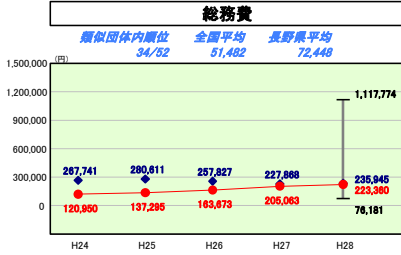
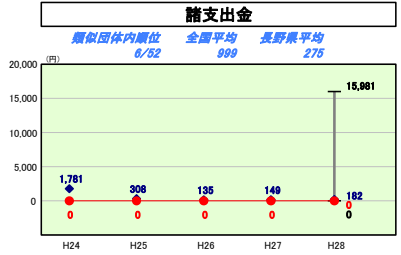
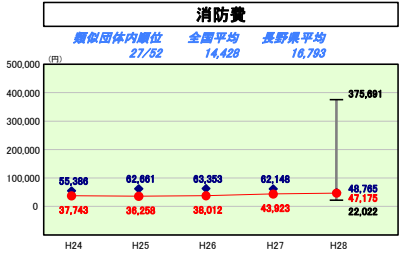
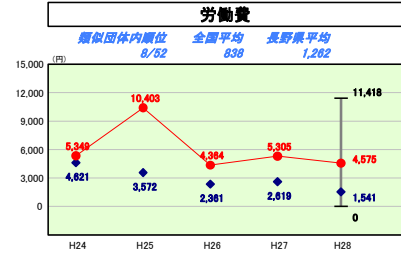
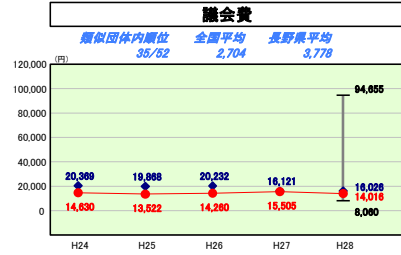
平成28年度

長野県木祖村

人口	3,009	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	2,982	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	140.50	km ²	実質公債費比率	5.6	%
歳入総額	3,240,584	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	3,002,556	千円	市町村類型	H24 I-2 H25 I-2 H26 I-2	
実収支	233,634	千円	(年度毎)	H27 I-1 H28 I-1	
標準財政規模	1,948,259	千円			
地方債現在高	2,616,126	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

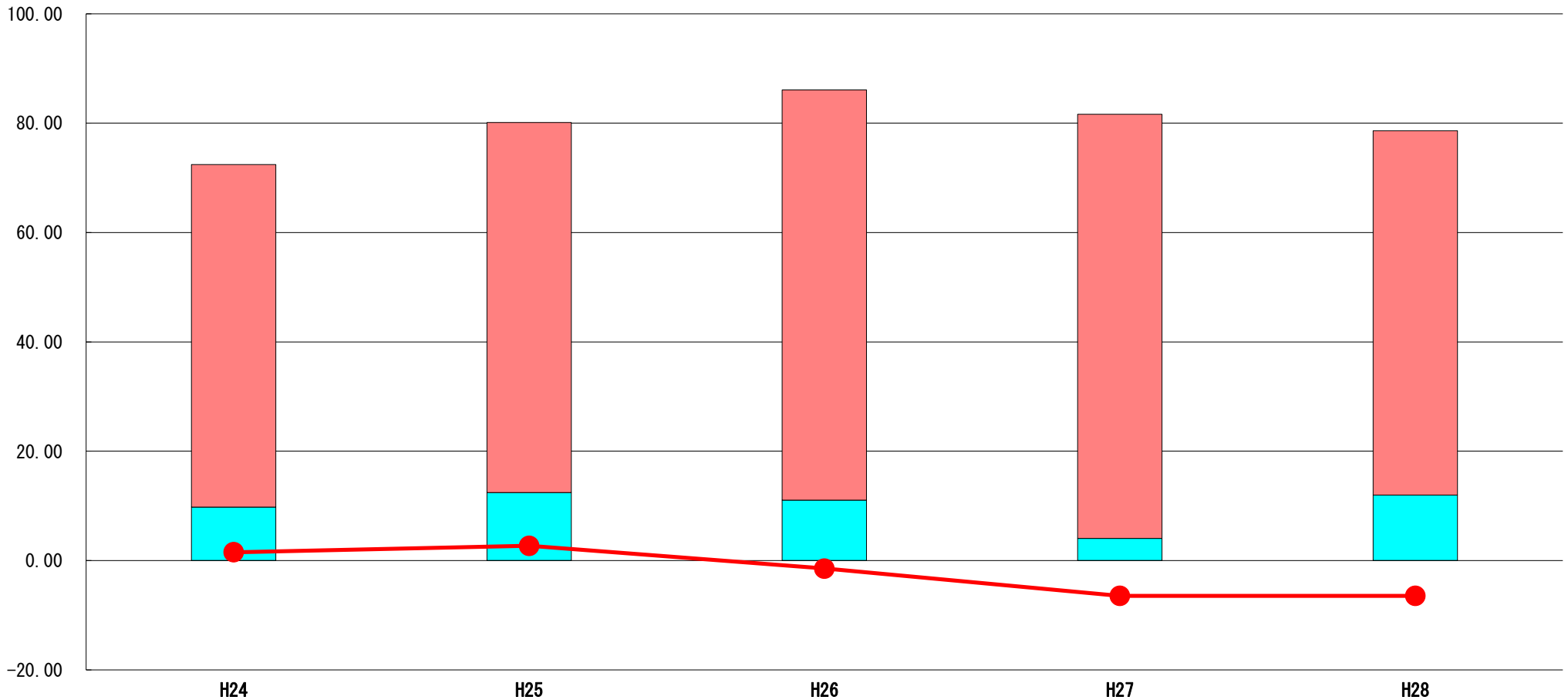
各項目について類似団体の平均を上回っているのが、「労働費」、「商工費」、「土木費」、「公債費」となった。
 「労働費」の主な要因としては、緊急雇用対策事業の実施によるものである。緊急雇用対策事業は平成25年度以降減少傾向にはあるが、今後も必要に応じて実施していく予定である。
 「商工費」の主な要因としては、こたまの森キャンプ場の施設リニューアルに伴い、宿泊施設やトイレ改修の実施によるものである。リニューアルは今後も継続して実施していく予定だが、適正な事業実施に努めたい。
 「土木費」の主な要因としては、村道やJR路線橋の施設点検事業の実施によるものである。
 「公債費」について、村債残高は増加していないが償還元金が増加したため増加となった。村債については発行抑制を継続実施し公債費の削減に努めたい。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




平成28年度

長野県木祖村

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28
 財政調整基金残高		62.62	67.65	75.04	77.57	66.62
 実質収支額		9.80	12.46	11.04	4.07	11.99
 実質単年度収支		1.52	2.71	▲ 1.45	▲ 6.46	▲ 6.46

分析欄

一般財源である税収の大部分をダムの償却資産税が占めるが、平成19年度をピークに減少している。今後、公共施設の老朽化等管理的経費及び扶助費の増加が予想される中、財政調整基金の積立を行い増加を図っているが、平成28年度は不動産（土地・建物）の取得に充てたため、減少した。

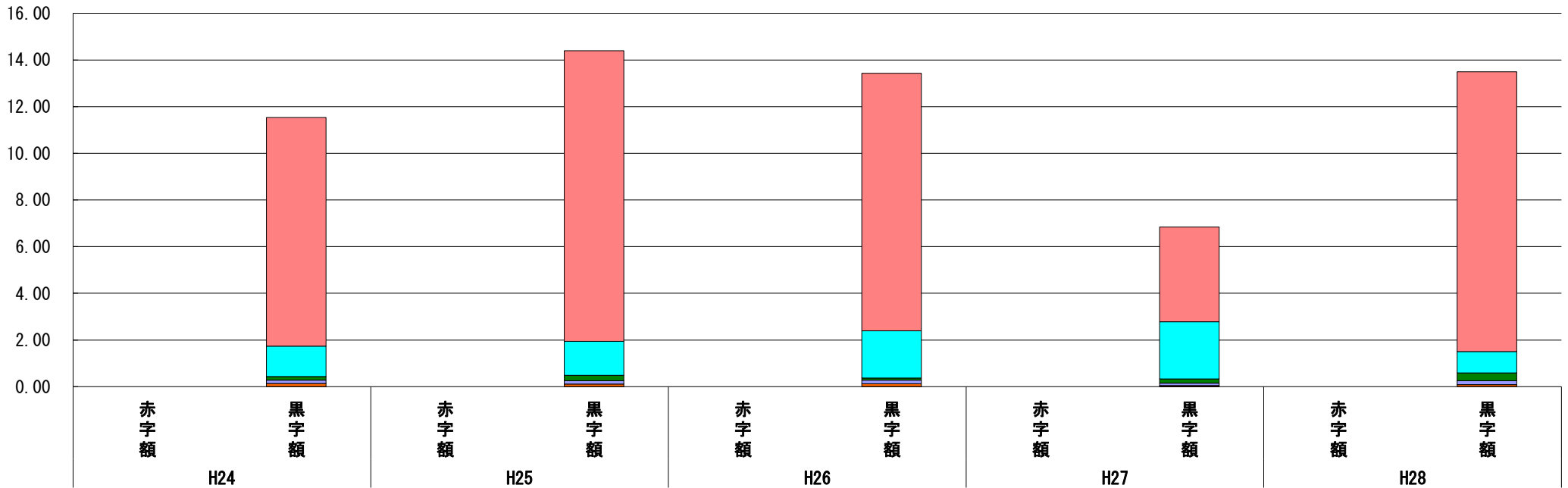
平成26年度から繰越金の減少により、実質単年度収支がマイナスとなった。経常的に支出される物件費等を中心に事務事業の見直しを推進し、改善に努めたい。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

平成28年度

長野県木祖村

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H24	H25	H26	H27	H28
一般会計		9.80	12.46	11.04	4.06	11.99
木祖村国民健康保険特別会計		1.30	1.46	2.02	2.45	0.91
木祖村営水道特別会計		0.15	0.23	0.09	0.18	0.34
木祖村農業集落排水事業特別会計		0.14	0.14	0.15	0.10	0.16
木祖村公共下水道事業特別会計		0.14	0.11	0.13	0.04	0.09
木祖村後期高齢者医療制度特別会計		0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		-	-	-	-	-

分析欄

各会計とも黒字となっている。
 財政調整基金の取崩しを行わずに黒字を維持してきているため、
 今後も既存事業の評価と新規事業の効果を検証し、黒字の維持を
 図っていく。

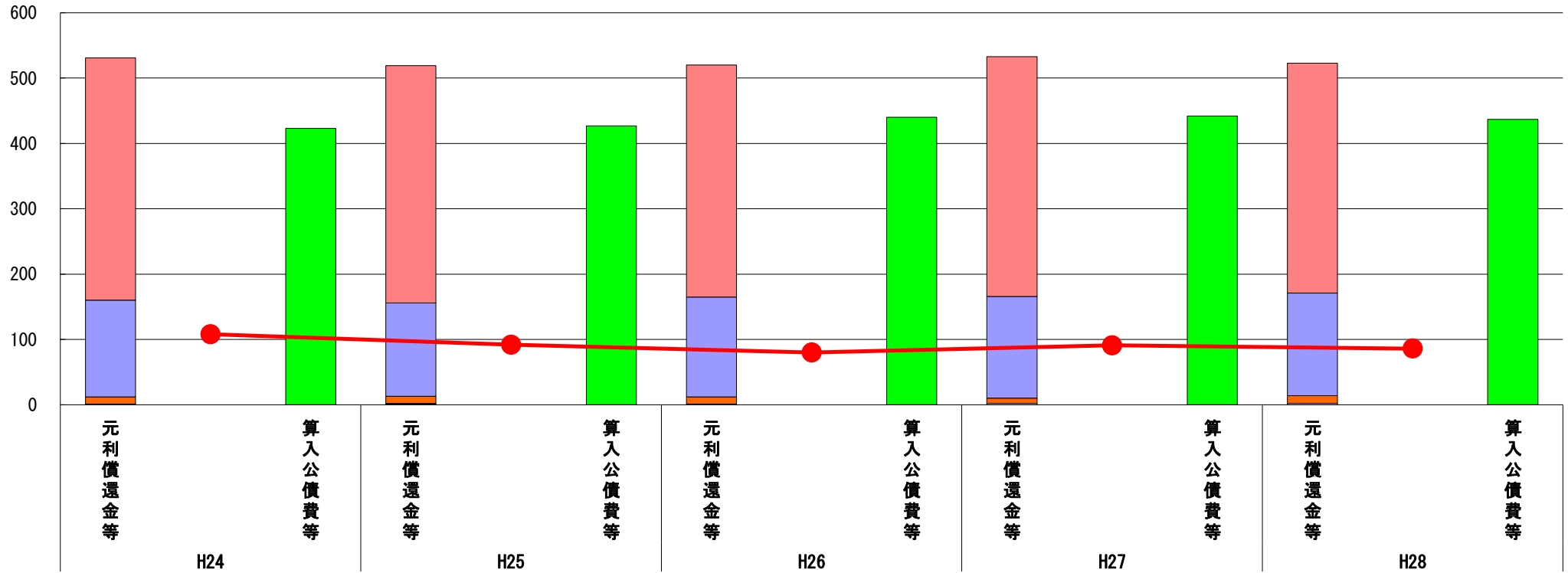
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

長野県木祖村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等(A)	元利償還金		371	363	355	367	352
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		148	143	153	156	157
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		11	11	11	8	12
	債務負担行為に基づく支出額		1	1	1	2	2
	一時借入金の利子		0	1	0	0	0
算入公債費等(B)	算入公債費等		423	427	440	442	437
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		108	92	80	91	86

分析欄

元利償還金等については、公営企業債の元利償還金に対する繰入金の増加により増加傾向にある。また借入資金の選択により、算入公債費等は増加しているため実質公債費率の減少傾向につながっている。

公債費の抑制と、事業実施については算入公債費の考慮により実質公債費の一層の減少を図っていく。

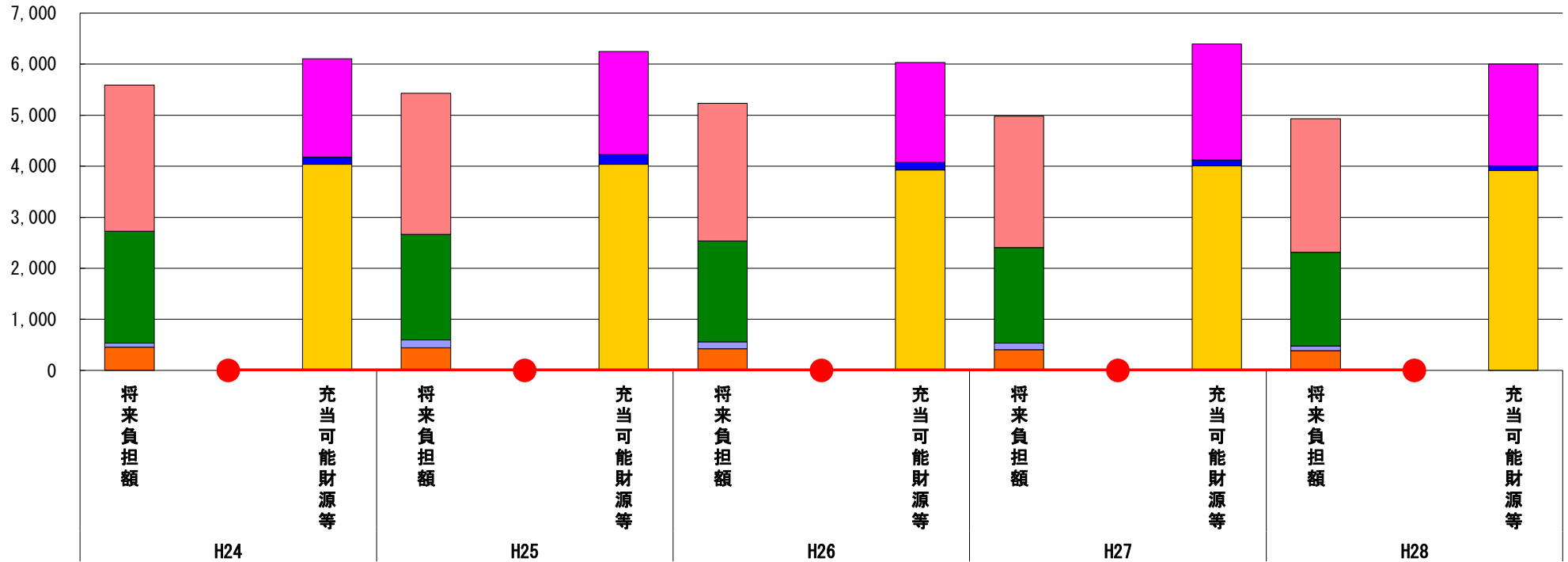
※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成28年度

長野県木祖村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高		2,865	2,762	2,698	2,573	2,616
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		2,193	2,071	1,976	1,872	1,833
	組合等負担等見込額		78	151	138	128	93
	退職手当負担見込額		454	444	421	405	388
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金		1,922	2,022	1,960	2,276	1,993
	充当可能特定歳入		145	192	144	116	92
	基準財政需要額算入見込額		4,037	4,036	3,929	4,005	3,915
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 515	▲ 822	▲ 800	▲ 1,418	▲ 1,069

分析欄

将来負担額については、地方債発行の抑制により現在高が減少した。充当可能財源等については、基金残高の減少もあり減少となった。今後も充当可能額が将来負担額を上回り、将来負担比率が0%の状況を維持できるよう公債費の抑制と充当可能財源の確保を図っていく。

※平成29年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。